

● 本日の卓話

「古代豪族紀氏の研究～其の式」

紀 俊 崇 会 員

● 次週の卓話

「変化の時代に生きる力を育む
～教育のトレンドと開智の挑戦～」開智中学校・高等学校 校長
高 松 雅 貴 さん

● 先週の例会記録

- ✳ロータリーソング 日も風も星も
- ✳ビ ジ タ ー 紹 介 米山奨学生 薛安達さん
- ✳出 席 報 告 (会員数76名、免除会員1名)
本日出席(5/20) 57名 76.00%
- ✳メ イ キ ャ ッ プ なし
- ✳S. A. A. 野井和重さん、松井良樹さん、
(ニコニコ箱) 田村欽彰さん、豊田英三さん、
福地達明さん、林 俊行さん、
河村秀樹さん、脇坂三蔵さん、
中谷友紀さん、廣井久道さん、
岩西智宏さん、瀬川良浩さん、
塚本貞治さん、吉田友之さん、
中谷久生さん、上園芳孝さん、
海瀬隆太郎さん、松尾泰明さん、
中野智一さん

本日合計 ￥66,000

今年度累計額 ￥2,093,500

- (財団寄付献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、田村欽彰さん、豊田英三さん、福地達明さん、林 俊行さん
- (米山奨学会献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、田村欽彰さん、豊田英三さん、福地達明さん、林 俊行さん
河村秀樹さん、脇坂三蔵さん
- (青少年育成奨励金) 野井和重さん、松井良樹さん、田村欽彰さん、豊田英三さん、福地達明さん、林 俊行さん

5月は青少年奉仕月間
(Youth Services Month)

誕生日お祝い

● 会長あいさつ

会 長 野 井 和 重

【インフォメーションと出席】



新会員さまをお迎えする際に必ず「会員候補者インフォメーション」という儀式が開催されます。皆様ももちろんお受けになったことと存じます。その内容はロータリークラブの歴史から始まり、日本でのなりたち、我がクラブの歴史、目的、行動規範、公式な標語、4つのテスト、会員の義務と特典、例会と出席などなど、大量の情報が提供されます。きまって最後には「またお時間のある時に細部まで熟読ください」と告げられて終わります。紳士には当たり前の内容かとも思いますが、なかなか厳しい事が書かれています。

松井幹事をクラブに紹介したのは私でしたので、当然彼のインフォメーションには参加していました。そして1年余りたった「出席者表彰」のときです。松井幹事が皆出席で表彰されました。「おっすごいなあ、なかなかやるな」と

思っていると、帰りがけに声をかけられ「あなたは？ 違ったのですね？ 私にインフォメーションで出席義務があり欠席のときは必ずメイキャップ……とあなたが言われましたので、そのようにしたのですが、紹介者のあなたは……」と。もう目が点になりました。しかしよくよく考えてみると彼は当然の事をされたまで、自分の言ったことに責任を取っていない事を「少しだけ」攻め、「うるさい後輩」だなあと思いつつも、その後はメイキャップも含め出席を続けています。冗談めいて表現しましたが、おかげで目が覚め、改めてインフォメーションに目を通しました。

神戸ロータリークラブの100周年にお招きいただいた時のお話は皆様に紹介したと思いますが、それ以後松井幹事の助言もあり自クラブとご縁の深い11クラブへの表敬訪問をはじめ、残すところ1クラブとなりました。各クラブはそれぞれ本当に特徴があり素晴らしい運営をされています。で、一番ビックリしたのが出席率です。ということで月末に開催するIDMは「出席率の向上」がテーマであります。

本日もよろしく願いいたします。

会 長 報 告

先週の「春の家族会」は、食材に生ものが多いなどの理由から水曜日に開催するかどうかの判断をしなくてはならず、その時点では雨の確率が100%だったため中止となってしまう大変残念でしたが、次年度にこのお楽しみは引き継いでいただきたいと思います。

それから本日は米山奨学生の薛(セツ)さん、ようこそお越しくださいました。また、卓話ゲストには私は「島兄」と呼んでいるのですが昨日お誕生日で67歳になられました島慶司さんにお越しいただきました。島さんの妹さんと私が同級生のため、子どもの頃から遊んでいたお兄ちゃんと慕って60年になります。このあとの卓話、どうぞよろしくお願いいたします。

また、本日インフォメーションを受けていただいた竹本さんも、私の年度に入っていただきたいということで6月から来ていただく予定で本日オブザーバー参加していただいています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

幹 事 報 告

- 例会変更のお知らせ(和歌山アゼリアRC、田辺東RC)
- バギオだより5月号について
- ハイライトよねやまについて
- 回覧物(英語版ロータリー)について

委 員 会 報 告



米山奨学生カウンセラー
河村 秀 樹 会員

米山奨学生 薛 安達(せつ あだち)さん
例会出席



米山奨学生 薛 安達さん、野井会長



職業奉仕部門
村田 弘 至 理事

優良事業所見学会当日の集合場所や予定について



ロータリー情報委員会
海 瀬 隆太郎 委員長

24-25年度 第二回I.D.M.の開催日程や進行方法について

卓 話

「運を拓いて創る新しい価値」



株式会社貴志安商店 代表取締役
島 慶 司 さん

40年余りに渡る銀行員生活で、何百人と言う経営者の方々にお会いして、経営者にとって最も必要な能力は「運」であるとの結論に至った。

ビジネスとは「新しい価値の創造」に他ならないが、事業活動を行っているとき往々にして「お金」や「数字」に捉われてしまって道を誤ることがある。

「お金」は、企業や人が生み出す価値に裏付けされたもので「お金」そのものには価値はない。企業の成長を追求する時、数字の目標が前に出てくることがあり、それはそれで大切なことではあるが、その裏付けである「価値の創造」を忘れてはならない。

「価値創造」の側面から企業を分類すると以下の三つに大別される。

1. すでに世の中にある価値を他と差別化して価値を提供する。例えば、飲食店や理容室。
2. 今までのビジネスモデルに新たな価値を付加するもの。例えば、回転ずし。
3. 全く新たな価値を提供するもの。例えば、視覚障害者用の点字ブロック。

回転ずしのお寿司を運ぶレーンや視覚障害者用の点字ブロックを創り出した経営者達は、考えに考え抜いてその価値を創出したのではない。そこには、「運」に導かれた「気づき」があった。その「気づき」にたどり着くためには。

Don't think. Feel.



(左から) 出席・プログラム委員会 田村欽彰委員長、
卓話ゲスト 島 慶司さん、野井会長